

平成29年9月4日

保護者各位

四日市市立内部東小学校  
校長 高橋 啓一

## セアカゴケグモに対する注意について

日頃は、本校の教育活動にご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度も「セアカゴケグモ」が校庭で発見され、バーナーで処理しましたが、今年も夏休み中に学級園等で「セアカゴケグモ」が発見されました。

市内における「セアカゴケグモ」に関する通報によると、最近では、沿岸部だけでなく山間部からの通報も見受けられることから、市内全域にわたって「セアカゴケグモ」が生息していると考えられます。

つきましては、下記を参考にして対応をお願いします。

なお、「セアカゴケグモ」は特定外来生物に指定されており、その生態や分布状況等を市で把握する必要があります。「セアカゴケグモ」を発見した場合は、下記により報告をお願いします。

記

### 1 セアカゴケグモについて

毒を持っているのはメスだけです。  
セアカゴケグモの性格はおとなしく、手で直接触れなければ、かまれることはありません。

\*成熟したメスの体長は、約0.7～1cm。  
色は黒色やこげ茶色で、背中の真ん中に、赤からオレンジ色の模様があります。



### 2 生息場所

ブロック塀や石のすき間、排水溝の周り、マンホールの裏、花壇など

### 3 注意事項

- (1) 除草作業等をする場合には、必ず軍手を着用してください。
- (2) セアカゴケグモを発見したら、絶対に素手で触らず、市販の殺虫剤を用いて駆除するか、踏みつぶして駆除してください。

\*卵のう（卵の入った直径1cmの白い球体）には、殺虫剤が効かないことがあるため、子グモが散らばらないようビニール袋に入れて踏みつぶしてください。

## 4 かまれたときの症状及び対応

### (1) 症状

- ① ほとんどの場合、かまれた瞬間に針で刺されたような痛みを感じます。その後、30~40分経過して、鈍い痛み、熱感、赤み、腫れ、発疹、発汗（傷口周辺）が現われることがあります。
- ② 通常は、数時間から数日で症状は軽減しますが、脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの症状が継続する場合があります。
- ③ 重症化することはまれですが、高齢者や子ども、アレルギー体質の人は症状が重くなる恐れがあるので注意が必要です。

### (2) 対応

- ① 傷口の余分な毒を流水やせっけん水で洗い流してください。
- ② 速やかに最寄りの医療機関で診察を受けてください。  
(かまれたクモを殺して病院へ持っていくと、適切な治療につながります。)

## 5 その他

- (1) 学校内で「セアカゴケグモ」を発見した場合は、学校【349-0036】まで報告をお願いします。
  - (2) 学校外（自宅や地域等）で「セアカゴケグモ」を発見した場合は、市環境保全課【354-8188】まで報告をお願いします。
- ※ 《報告内容》 発見日、場所、発見数、被害の有無、駆除の状況（わかる範囲で）